



《瀬戸内海》

瀬戸内海環境保全特別措置法の定義によれば、紀伊水道、豊後水道、関門海峡によって外海に接する面積二万三千平方キロの内海。一府十県にまたがる海岸線は延長六千八百キロ。七百余りの島があり、海水は一年半程度で外海と入れ替わる。

6/30/2009

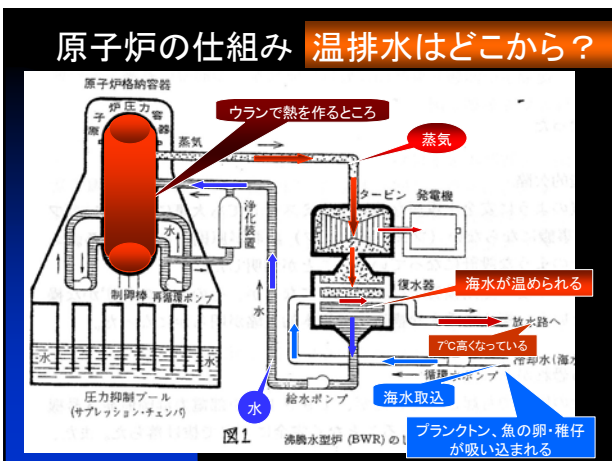


この海に原発ができる

原発 何が心配ですか

温 廃 水 だ す

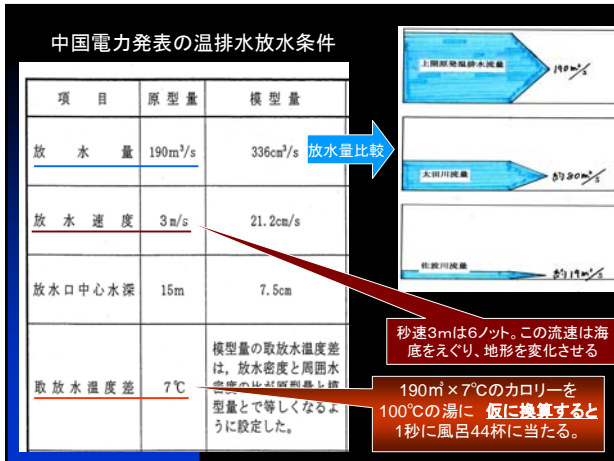
6/30/2009



ウランで作った熱の、3分の1で電気を作ります。3分の2の熱が海に捨てられるのです。

上関で2基が動くと、549.2万kwの熱で海を暖めてしまうのです。

6/30/2009



この温排水には
微量にせよ放射能が含まれます。

6/30/2009

瀬戸内海は不思議な海です

6/30/2009

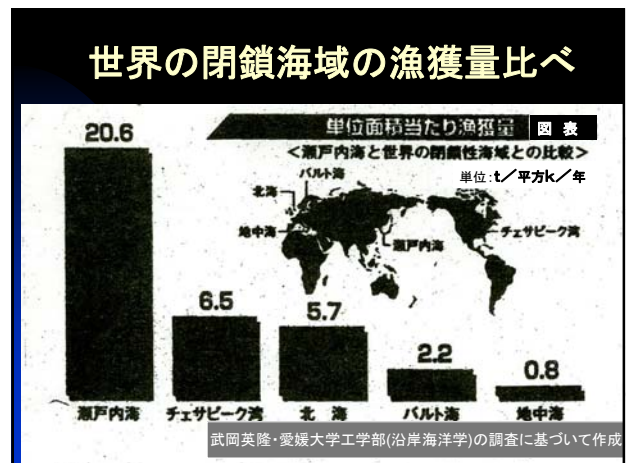


灘(海の広がるところ)と瀬戸(島が多いところ)が交互に現れます。

プレートの沈み込みが、このような地形を作ります。プレートの沈み込みは地震を起しますが、恵みももたらすようです。

世界の閉鎖海域の中で、単位面積当たりの漁獲量はトップクラスなのはこのためです。

6/30/2009



この豊かな海の秘密は、瀬戸を流れる潮流の速さにあります。早い流れは海水を上下にかきまぜます。

上層部の酸素と下層部の栄養が混じることによって魚が豊かに育ちます。

祝島の漁にも同じマダイの一本釣り漁が



豊かな瀬戸内海で脈々と受け継がれてきたマダイの一本釣り漁 (山口県東和町の沖屋室島沖)

6/30/2009

瀬戸内海は繊細な海です

水深は浅く、流れは外洋の海流のように一方向に流れるのではなく、潮の干満によって潮流ができます。そのため、停滞性水域があります。

6/30/2009

14

瀬戸内海の断面図

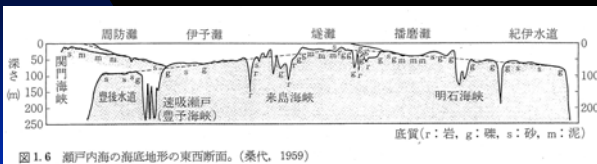


図 1.6 瀬戸内海の高底地形の東西断面。(桑代, 1959)

日本の自然 6 中国四国 (岩波書店)

浅い海 平均水深 38m

6/30/2009

15

1万5千年前の瀬戸内海 (海に海水が無かった頃の様子)

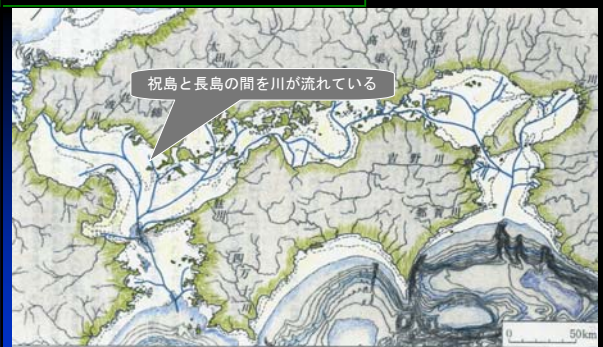


図 6.3 瀬戸内海の水深分布と水系。太線は海抜に残された谷地形で、最終氷期における水系を示す。(日本第四紀学会, 1987 を簡略化)

4/23/2009

瀬戸内海の潮流 (潮の満干による)



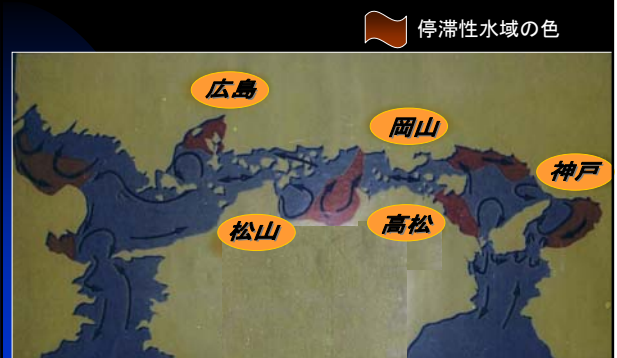
図 2 上げ潮の流れる向き

瀬戸内海事典 (南々社)

6/30/2009

17

瀬戸内海の恒流分布と停滞性水域の模式図



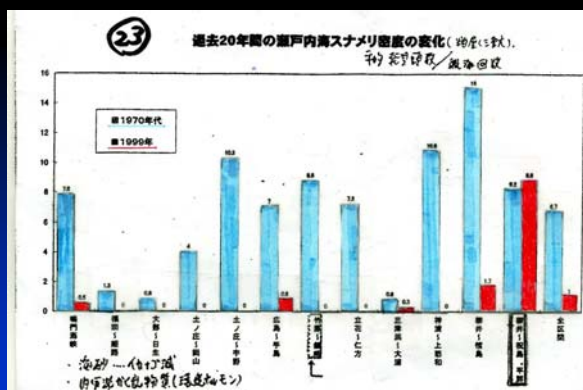
6/30/2009

産業技術総合研究所 中国センター パネル

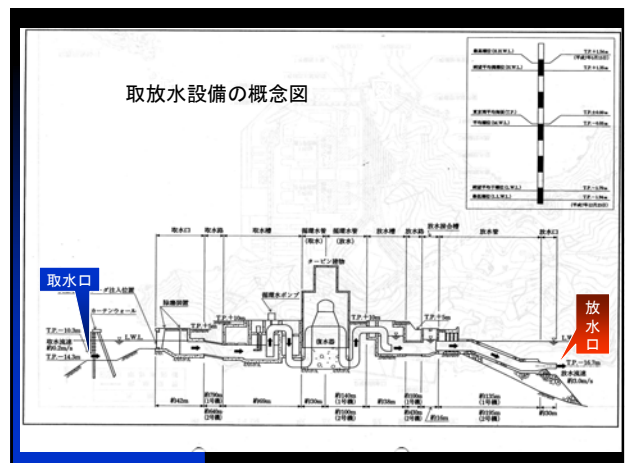
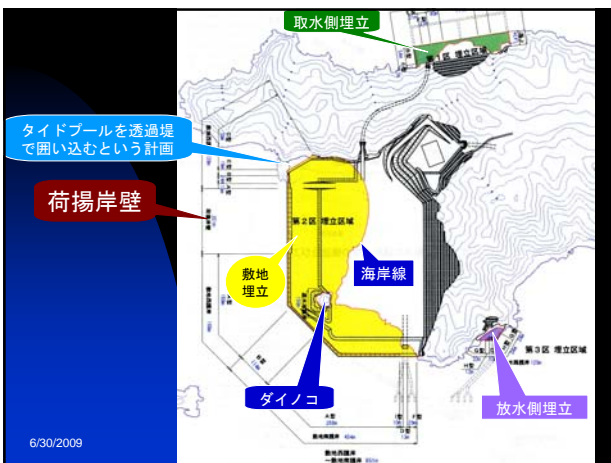
原子力発電所の予定地・周防灘

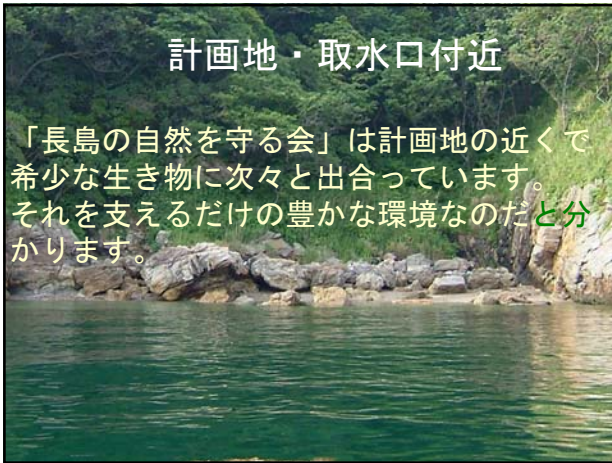


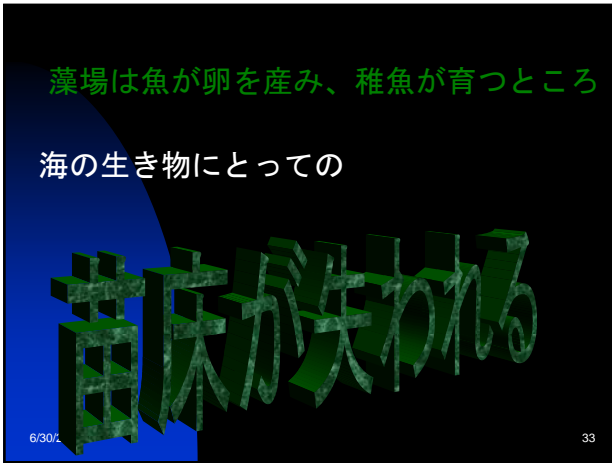
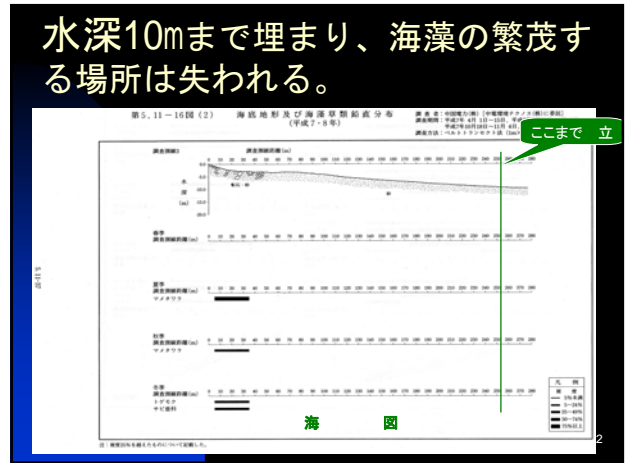
計画地のある周防灘は
かつては、瀬戸内海のいたるところに
いたスナメリクジラが、唯一生息数を
増やしている所です。



ここに原発が 埋立計画図







「瀬戸内海環境保全特別措置法」
第十三条

(埋立て等についての特別の配慮)

第十三条 関係府県知事は、瀬戸内海における公有水面埋立法(大正十年法律第五十七号)第二条第一項の免許(略)については、第三条第一項の瀬戸内海の特殊性につき十分配慮しなければならない。

「瀬戸内海環境保全特別措置法」
第三条第一項 (瀬戸内海の特殊性)

瀬戸内海環境保全特別措置法
(昭和四十八年十月二日法律第百十号)

最終改正: 平成一七年四月二七日法律第三号

第二章 瀬戸内海の環境の保全に関する計画

(瀬戸内海の環境の保全に関する基本となるべき計画)

第三条 政府は、瀬戸内海が、わが国のみならず世界においても比類のない美しさを誇る景勝地として、また、国民にとって貴重な漁業資源の宝庫として、その恵沢を国民がひとく享受し、後代の国民に継承すべきものであることにかんがみ、瀬戸内海の環境の保全上有効な施策の実施を推進するため、瀬戸内海の水質の保全、自然景観の保全等に関し、瀬戸内海の環境の保全に関する基本となるべき計画(以下この章において「基本計画」という。)を策定しなければならない。

『瀬戸内海環境保全特別措置法』 制定年度昭和48年

温排水問題に関する中間報告
昭和50年1月
中央公害対策審議会水質部会
特殊問題専門委員会温排水分科会

温排水問題に関する中間報告

昭和50年頃、政府は環境への配慮を心がけようとしていた。

「温排水に関する中間報告」の内容

- 1) 温排水は熱汚染の一つ
- 2) 原子力発電所の建設推進等、温排水として放出される熱量は、今後著しく増大することが予想されるため、これを現状のまま放置することは好ましいことではなく、これらについて適切な措置を取ることが緊要であると考えられる。

『温排水に関する中間報告』を考える

日本の原発設置状況の推移
単位：万Kw 数字は当期間のもの

年度区分	原発設置数	出力計	1基平均出力	特記事項
～1974	8	389.3	48.7	

【中間報告】（1976年1月）で示唆されたことに何の配慮も無いまま原発設置は進む。

1975～1979	14	1105.9	79.0	1基100万Kwを超える原発設置
1980～1984	7	560.9	80.1	東海第二
1985～1989	9	871.9	96.9	柏崎刈羽6号
1990～1994	11	1108.6	100.8	
1995～1999	4	471.7	117.9	1基135万Kwを超える原発設置 東海原発16.6万Kwを閉鎖
2000～2004	3	356.3	118.8	ふげん16.5万Kwを閉鎖

そして、上関原発計画では、
1基 137.4万Kw出力の原発
2基の設置が予定されている。

祝島から田ノ浦を望む

祝島の山の中腹から、原発の予定地田ノ浦が霞んで見えていた。
祝島の真東にある田ノ浦は、祝島の人が日の出を拜む方向。
ここに原子力発電所が出来ては、暮しが成り立たなくなるだけでなく、心のよりどころが失われてしまう。
考えられないほどの豊かさを持つ、ここ長島は、私達にとっても宝物。
原子力発電所に明け渡すなど、許されることではない。
原子の力は人に災いをもたらすしかないものだから。



おわり

6/30/2009

43



年	発電所名	出力 (Kw)
昭和44年	敦賀1	35.7
昭和45年	美浜1	34
昭和47年	美浜2	50
昭和48年	島根1	46
昭和49年	福島1-2	78
昭和49年	高浜1	82
昭和50年	玄海1	55.9
昭和50年	高浜2	82.6
昭和50年	浜岡1	54
昭和50年	福島1-3	78.4

(原子力資料情報室資料より)

「温排水に関する中間報告」までの設置基数: 7基

6/30/2009

45